

がんセンター

■ スタッフ

センター長 中瀬一則（血液内科）
 副部長 福永稚子（がん専門看護師）

医師数 常勤 3名
 看護師数 1名
 事務職員 常勤 1名
 非常勤 10名

■ がんセンターの特色

がんセンターでは、昨年、三重大学医学部附属病院が厚生労働省より、中部地区の小児がん拠点病院の指定を受けたことを受け、今年度より、新たに小児がん集学的治療部門を設置し、計14部門・部署から構成されることになりました（図1）。それぞれの部門のリーダーの医師と県の健康福祉部の担当者が参加するリーダー会議を、毎月第一水曜日に定期的で開催し、附属病院のがん医療への取り組みについて協議を行うとともに、県のがん対策に関する意見交換も行っています。

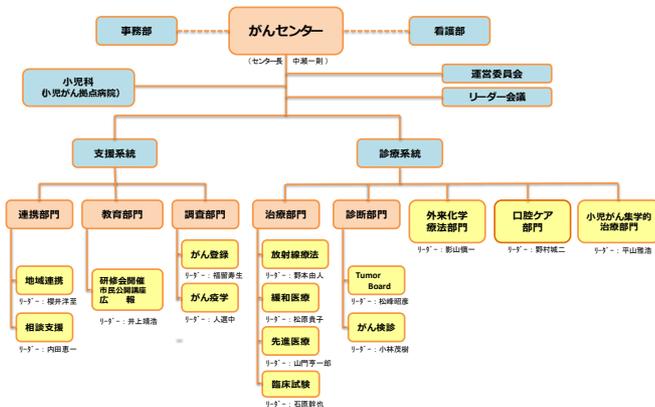


図1. がんセンター組織図

■ 活動内容

がんセンターでは、病院全体で tumor board (図2)を毎月第二水曜日に定期的で開催し、画像診断や病理診断等のがん診断に関わる専門医や外科手術、化学療法、放射線治療等のがん治療に関わる専門医、さらに、薬剤師、検査技師、看護師、臨床心理士等（計、約100名）が一同に会し、検討症例の病態に応じた適切な集学的治療戦略について協議を行っています。



図2. Tumor board の風景

また、地域住民の方へのがん医療の啓発活動として、年2回、市民公開講座を開催しています。今年度は、5月25日(日)に、「生命の駅伝」とのジョイントの公開講座を三重大学の三翠ホールで開催し、元厚生労働大臣で三重大学の坂口力名誉教授はじめ、4人の講演を行い、200名の地域の方にご参加頂きました。翌年3月1日(日)には、津市の総合文化センターで、「緩和ケアと小児がん」をテーマにした公開講座(図3)を開催し、150名の方にご参加頂きました。



図3. 総合文化センターでの公開講座の風景

2013年12月6日に、「がん登録推進法」が衆議院本会議で可決成立し、がんの全数登録の仕組み（全国がん登録）が整うことになりました。がんセンターは、院内がん登録の業務に加えて、三重県の地域がん登録の事務局業務も行っています。この地域がん登録全国協議会の第23回学術集会（図4）を今年度、担当することになり、6月12日(木)、13日(金)の2日間、三重県の歯科医師会館で開催させて頂きました。鈴木英敬三重県知事はじめ多数のご来賓のご列席を賜り、全国から、2日間で延べ296名の

多数の方にご参加頂き、盛会のうちに終了させて頂くことができました。

■ 活動実績

がんセンターが集計した、2014年度の院内がん登録のデータ（初回治療のみ）を下記に示します。

部位	総計	男	女
口唇	1	1	0
下根部	3	1	2
舌・部位不明	28	17	11
歯肉	9	6	3
口腔低	3	3	0
口蓋	1	1	0
口腔・部位不明	6	0	6
耳下腺	9	4	5
大唾液腺・部位不明	8	5	3
扁桃	5	4	1
中咽頭	13	11	2
鼻咽頭	9	6	3
梨状陥凹	6	5	1
下咽頭	16	15	1
食道	63	52	11
胃	180	126	54
小腸	12	6	6
結腸	146	85	61
直腸 S 状結腸部	14	8	6
直腸	86	50	36
肛門	2	2	0
肝・肝内胆管	121	94	27
胆嚢	8	2	6
肝外胆管	34	23	11
膵	85	44	41
鼻腔・中耳	3	1	2
副鼻腔	10	4	6
喉頭	33	29	4
気管支・肺	231	158	73
胸腺	3	1	2
心臓・縦隔・胸膜	12	8	4
四肢の骨	5	2	3
骨・部位不明	13	9	4
骨髄	63	40	23
皮膚	140	73	67
後腹膜・腹膜	6	3	3

軟部組織	39	24	15
乳腺	429	0	429
外陰	4	0	4
膣	3	0	3
子宮頸部	115	0	115
子宮体部	62	0	62
子宮 NOS	3	0	3
卵巣	28	0	28
女性性器・部位不明	3	0	3
陰茎	3	3	0
前立腺	167	167	0
精巣	6	6	0
男性性器・部位不明	4	4	0
腎	134	103	31
腎盂	14	12	2
尿管	12	9	3
膀胱	58	54	4
泌尿器・部位不明	2	1	1
眼・付属器	5	2	3
脳髄膜	32	10	22
脳	25	10	15
脳神経・その他中枢神経	14	10	4
甲状腺	75	16	59
副腎	3	1	2
その他の内分泌腺	9	5	4
部位不明確	2	1	1
リンパ節	34	24	10
原発部位不明	14	6	8
総計	2686	1367	1319

■ 今後の展望

がんセンターでは、今後も、がんに関わる様々な職種、診療科、医療機関の垣根を超えたひとつひとつのつながりによる連携により、三重大学医学部附属病院ならびに三重県全体のがん医療の向上に貢献していくことを目指していますので、よろしくお願い致します。